

製品名: TSC-22 ウサギポリクローナル抗体**カタログ番号: APRab19354**

研究使用のみ

概要

| | |
|--------|--|
| 説明 | ウサギポリクローナル抗体 |
| 宿主 | うさぎ |
| 応用 | WB,IHC,ICC/IF,ELISA |
| 反応性 | ヒト、マウス、ラット |
| 標識 | 非共役 |
| 修飾 | 未修正 |
| アイソタイプ | IgG |
| クローン性 | ポリクローナル |
| 形態 | 液体 |
| 濃度 | 1mg/ml |
| 保存 | アリコートし、-20°Cで保存してください（12 ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。 |
| 輸送 | 氷袋 |
| バッファー | 50% グリセロール、0.5% 保護タンパク質、0.02% 新タイプ防腐剤 N を含む PBS 液。 |
| 精製 | アフィニティー精製 |

応用

| | |
|------|---|
| 希釈倍率 | WB 1:500-1:2000,IHC 1:100-1:300,ICC/IF 1:200-1:1000,ELISA 1:10000-1:20000 |
| 分子量 | 16kDa |

抗原情報

| | |
|--------------|---|
| 遺伝子名 | TSC22D1 TSC22D1; KIAA1994; TGFB1I4; TSC22; hucep-2; TSC22 domain family protein 1; Cerebral protein 2; Regulatory protein TSC-22; TGFB-stimulated clone 22 homolog; Transforming growth factor beta-1-induced transcript 4 protein |
| 別名 | |
| 遺伝子 ID | 8848.0 |
| SwissProt ID | Q15714 |
| 免疫原 | 抗血清はヒト TSC22D1 由来の合成ペプチドに対して作製された。アミノ酸範囲: 71-120 |

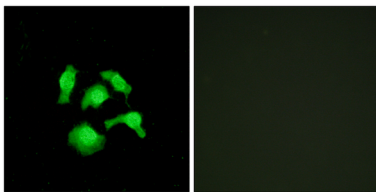
背景

この遺伝子は、ロイシンジッパー転写因子 TSC22 ドメインファミリーのメンバーをコードしています。コードされているタンパク質は、形質転換成長因子βによって刺激され、C型ナトリウム利尿ペプチドを含む複数の遺伝子の転写を制御します。コードされているタンパク質は、癌細胞のアポトーシス誘導を介して腫瘍抑制に重要な役割を果たす可能性があり、この遺伝子のプロモーターにおける一塩基多型は糖尿病性腎症と関連付けられています。この遺伝子には、複数のアイソフォームをコードする選択的スプライシング転写バリエーションが観察されています。[RefSeq 提供、2011年8月]機能: 転写抑制因子。C型ナトリウム利尿ペプチド (CNP) プロモーターに作用します。誘導: 大動脈内皮細胞において、TGFβを含むサイトカインによって誘導されます。類似性: TSC-22/Dip/Bun ファミリーに属します。サブユニット: ホモ二量体またはヘテロ二量体。TSC22D4 とヘテロ二量体を形成できる。組織特異性: 胎児および成人の組織で広く発現する。

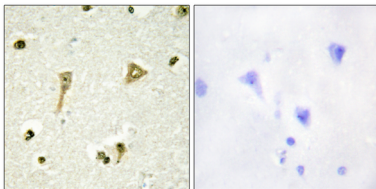
研究分野

エピジェネティクスと核シグナル伝達; 転写; ドメインファミリー; HLH / ロイシンジッパー; ロイシンジッパー

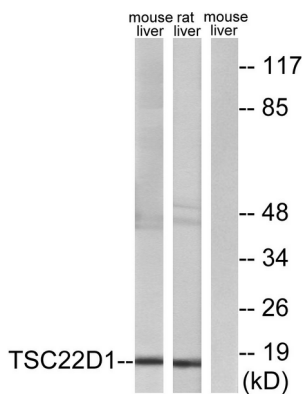
画像データ



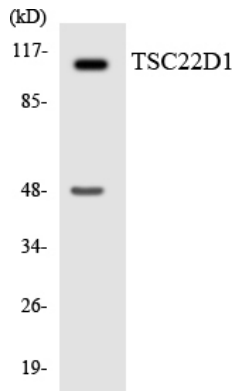
TSC22D1 抗体を用いた HepG2 細胞の免疫蛍光染色。右の写真は合成ペプチドでブロッキングした画像です。



TSC22D1 抗体を用いたパラフィン包埋ヒト脳組織の免疫組織化学染色。右の写真は合成ペプチドでブロッキングした状態。



TSC22D1 抗体を用いたマウス肝細胞およびラット肝細胞ライセートのウェスタンブロット解析。右レーンは合成ペプチドでブロッキングされている。



TSC22D1 抗体を使用した HepG2 細胞の溶解物のウェスタンブロット分析。